



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 大木ヘルスケアホールディングス株式会社  
コード番号 3417 URL <http://www.ohki-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 秀正  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 宮本 正博

TEL 03-6892-0710

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	152,281	7.3	716	21.7	1,227	14.1	870	19.0
2022年3月期第2四半期	141,870	2.5	588	74.0	1,075	62.6	731	62.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,114百万円 (127.9%) 2022年3月期第2四半期 488百万円 (80.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
2023年3月期第2四半期	63.12	
2022年3月期第2四半期	53.06	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	121,467	22,917	18.8
2022年3月期	113,954	22,092	19.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 22,775百万円 2022年3月期 21,947百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2022年3月期				21.00	21.00
2023年3月期					

(注) 2023年3月期の配当予想につきましては、この四半期決算短信の発表時点において、未定としております。

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

2023年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を、この四半期決算短信の発表時点において算定する事が困難である為、未定としております。

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,072,100 株	2022年3月期	14,072,100 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	280,575 株	2022年3月期	280,575 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,791,525 株	2022年3月期2Q	13,791,575 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想等の前提となる条件及び業績予想等のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (当期の経営成績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー原材料価格の高騰、急激な円安に伴う物価上昇など、依然として先行きは不透明で、予断を許さない状況にあります。

このような長引くコロナ禍にあつて、当社グループはお得意先様や従業員の健康に配慮したうえで、感染予防対策に万全を期し、消費者の多種多様なニーズを発掘し、「医薬品スタンディングの美と健康と快適な生活にウイングを持つ需要創造型の新しい中間流通業」の実現を目指し、当社グループの社会的使命である医薬品等生活必需品の供給に努めてまいりました。

当社グループの属するヘルスケア業界におきましては、感染症予防対策としてのマスクや消毒液等の衛生関連用品は、前年度の反動により需要減となりました。反面、解熱鎮痛剤や健康食品・化粧品等の商材が寄与した一方、インバウンド需要の激減、人口減少による需要の減退、大手ドラッグストアのM&A等の生き残りをかけた再編、人件費・物流コストの上昇・販売競争の激化等、当社グループを取巻く経営環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、中長期的な将来展望を踏まえ、未来に向けてチャレンジし続ける企業文化を構築するとともに、健康寿命延伸産業の中核流通となるべく、企業価値向上に取り組んでまいりました。

そのため、考え方を共有する小売店とパートナーシップを組み、医薬品・健康食品・化粧品・衛生医療用品、更には日用雑貨品に至るまで消費者が満足して購入し使って頂けるカテゴリー提案を積極的に行うとともに、店頭での販売力を強化する為の「インスタマーチャンダイジング」の展開など中長期的な企業価値向上や持続的な成長を目指し、市場シェアを拡大するべく事業を積極的に展開いたしました。

また、専売品の売上構成を高めるとともに、利益構造の改革を図り適正利益の確保に努めてまいりました。

さらに物流部門の生産性向上による経費抑制効果や効率改善に向けたDX(デジタルトランスフォーメーション)を進め業務改革に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は152,281百万円(対前年同期比7.3%増)、連結経常利益は1,227百万円(対前年同期比14.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は870百万円(対前年同期比19.0%増)と増収増益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ、受取手形及び売掛金が5,637百万円増加した事等により、結果として7,512百万円増加の121,467百万円となりました。また、負債は、仕入債務が6,485百万円増加した事等により、6,688百万円増加の98,549百万円となり、純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が870百万円であった事等により824百万円増加の22,917百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績見込につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を現時点において算定する事が困難である為、未定としております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,774	3,467
受取手形及び売掛金	62,051	67,689
棚卸資産	22,192	21,874
その他	10,668	11,673
貸倒引当金	△10	△12
流動資産合計	97,675	104,692
固定資産		
有形固定資産	5,852	5,809
無形固定資産	114	155
投資その他の資産		
投資有価証券	7,132	7,479
その他	3,210	3,358
貸倒引当金	△31	△27
投資その他の資産合計	10,311	10,810
固定資産合計	16,279	16,774
資産合計	113,954	121,467
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,979	56,374
電子記録債務	20,894	22,985
短期借入金	7,180	6,871
引当金	290	319
その他	9,271	9,825
流動負債合計	89,615	96,375
固定負債		
長期借入金	300	240
引当金	214	223
退職給付に係る負債	932	938
その他	799	771
固定負債合計	2,246	2,173
負債合計	91,861	98,549
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	14,747	15,328
自己株式	△255	△255
株主資本合計	18,411	18,992
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,621	3,858
退職給付に係る調整累計額	△85	△75
その他の包括利益累計額合計	3,536	3,783
非支配株主持分	145	141
純資産合計	22,092	22,917
負債純資産合計	113,954	121,467

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	141,870	152,281
売上原価	134,814	144,610
売上総利益	7,055	7,671
販売費及び一般管理費	6,466	6,954
営業利益	588	716
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	86	88
仕入割引	131	120
情報手数料	195	204
その他	117	125
営業外収益合計	537	546
営業外費用		
支払利息	20	17
売上債権売却損	15	15
支払手数料	12	-
その他	1	3
営業外費用合計	50	35
経常利益	1,075	1,227
特別利益		
投資有価証券売却益	29	24
特別利益合計	29	24
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,105	1,252
法人税、住民税及び事業税	424	526
法人税等調整額	△40	△141
法人税等合計	384	384
四半期純利益	721	867
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	731	870

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	721	867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△243	237
退職給付に係る調整額	10	9
その他の包括利益合計	△232	247
四半期包括利益	488	1,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499	1,117
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。